

2020年11月20日

5割の大家が「危機感ない」と回答 保有物件の事故に関する意識調査

大家202人が回答、2020年11月調査実施

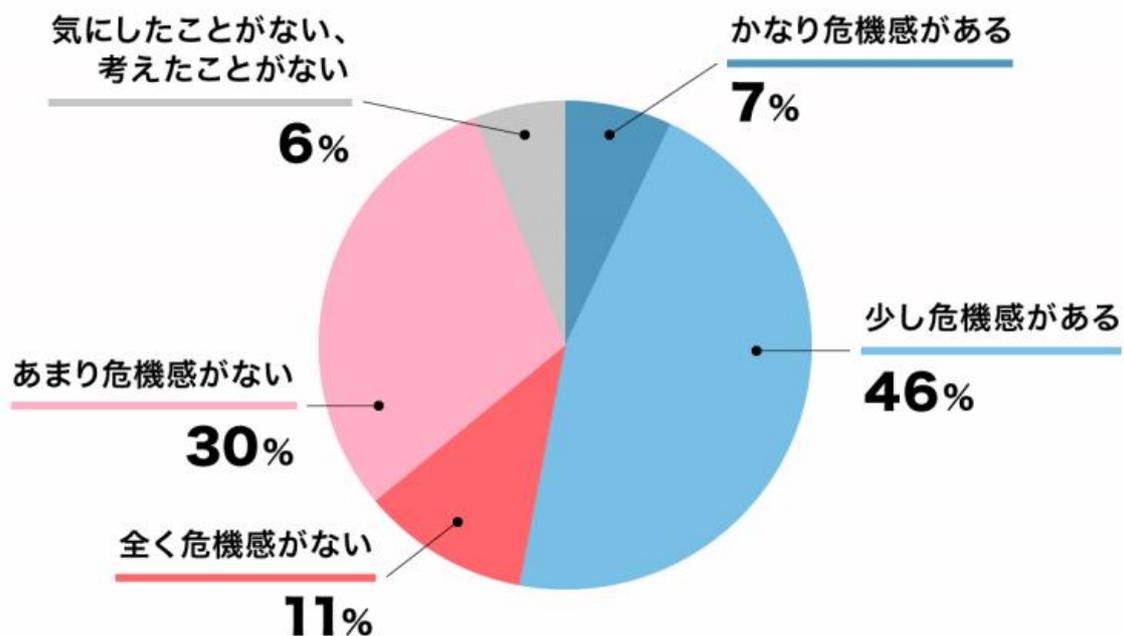
《本リリースのポイント》

- ・保有物件における事故について危機感はあるかという問いに、約5割が「危機感がない」と回答
- ・保有物件における事故対策については、6割が「十分にできていない」「わからない」と回答

国内最大の不動産投資サイト「楽待」(<https://www.rakumachi.jp>)を運営する、株式会社ファーストロジック(本社:東京都千代田区、東証一部上場、証券コード:6037)は、保有物件の事故に関する意識調査を実施した。調査期間は2020年11月4日~8日で、有効回答数は202名。「『保有物件で事故が起きるかもしれない』という危機感がありますか?」という質問に対し、約5割の大家が「あまり危機感がない」「全く危機感がない」「気にしたことがない」と回答しました。

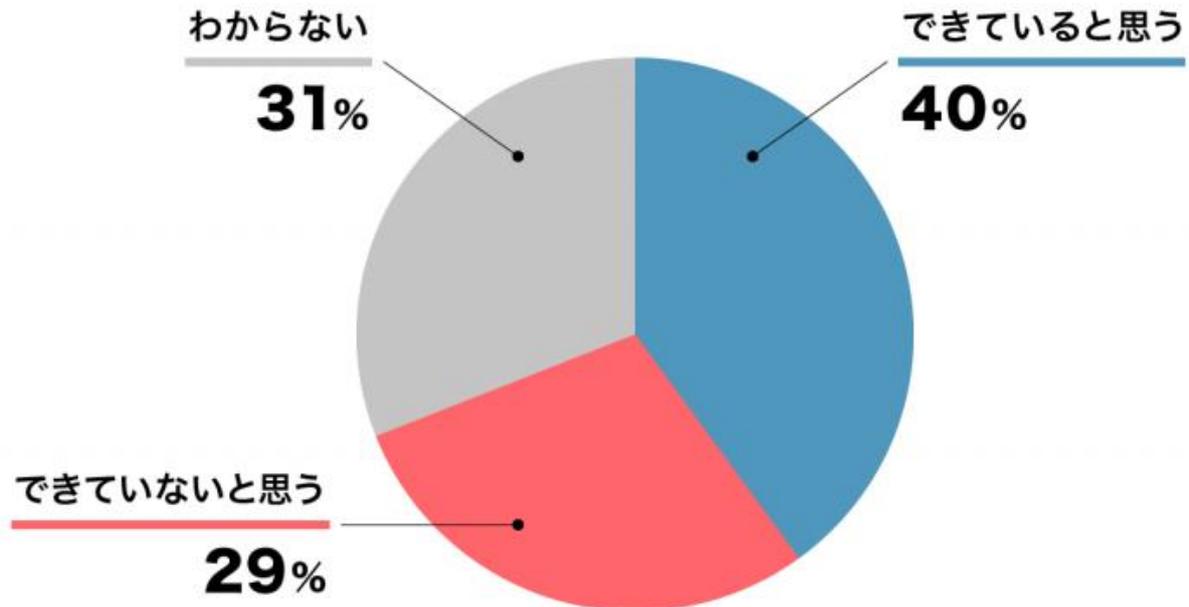
今年10月には、北海道苫小牧市で2階建てアパートの外通路が崩落し、5人が重軽傷を負う事故も発生しています。こうした事故に備え、物件は定期的なメンテナンスが必須となります。入居者が安心して暮らせるよう、楽待では物件オーナーに事故を未然に防ぐ対策を行ってほしいと考えています。

■「保有物件で事故が起きるかもしれない」という危機感がありますか?



■事故に備えた対策は十分にできていますか？

「事故に備えた対策は十分にできているか」という問いに対しては、「できていない」という回答が29%、「わからない」という回答が31%という結果に。事故が起こってしまったときに備え、保険に加入している大家は66%いたものの、十分な管理や対策を実施できていないと感じている大家が多いと分かる。



【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、利用者数・掲載物件数・使いやすさNo.1(*)の不動産投資サイトです。全国4400社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを無料で発信。公式YouTube「不動産投資の楽待 [RAKUMACHI]」はチャンネル登録者数15.8万人、総再生回数は約3200万回にのぼります。(2020年11月時点)

不動産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン上で会話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。これらのコンテンツは、iOS・Androidの楽待公式アプリからもご利用いただけます。

今後も「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名：株式会社ファーストロジック

URL：<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場：東証1部（証券コード：6037）

本社：東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー33階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当：尾藤（びとう）

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6706-4730

E-mail：rakumachi@firstlogic.co.jp

* 『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2019年6月）、
『利用者数 No.1』：自社調べ（2019年4月）、
『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2020年10月）